

毎月第3日曜日は「家庭の日」

みちしるべ

第110号

2020年3月25日

〈発行〉
玉城町青少年を育てる会
〈編集〉
啓発部会

“福祉の標語” 決まる!!

テーマ：元気「げんき」
対象：小中学生、一般
応募作品数：494通(小中学生)・48通(一般)
主催：元気ですたまき委員会
(玉城町社会福祉協議会)
共催：玉城町青少年を育てる会
健康しあわせ委員会

◆令和2年2月11日(火曜日・建国記念の日)、第18回玉城町社会福祉大会で表彰◆



表彰式

受賞された方々

田丸小学校の発表

【小学生以下の部】

※敬称略

賞	名前	学校名	標語
大賞	小辻 由菜	田丸小学校	げんきいっぱい えがおいっぱい あかるいまち
元気ですたまき委員会賞	尾崎 照英	田丸小学校	たいせつな まちのみんなと きずなの輪
玉城町青少年を育てる会賞	山口 統護	田丸小学校	「大丈夫？」 声をかける その勇氣
健康しあわせ委員会賞	粉間扶実佳	田丸小学校	ひろげよう 笑顔であいさつ 元気のわ

【中学生の部】

賞	名前	学校名	標語
大賞	野口 真鈴	玉城中学校	広げよう 笑顔の花と 元気の輪
元気ですたまき委員会賞	前田 桃奈	玉城中学校	「ありがとう」 たったそれで 変わるんだ
玉城町青少年を育てる会賞	取嶋 綾音	玉城中学校	つくろうよ 優しさあふれる 玉城町
健康しあわせ委員会賞	乙黒ひまり	玉城中学校	朝ごはん みんなで食べて 元気出す

【一般の部】

賞	名前	標語
大賞	西村実希子	笑顔は元気のパロメーター
元気ですたまき委員会賞	田中友香子	「元気ですたまき」で、元気になる
玉城町青少年を育てる会賞	出口 明郎	元気は明るい笑顔から!
健康しあわせ委員会賞	野口 美枝	忘れても 笑う笑顔に福きたる

VOICE

有田小学校 教頭

中西 英一郎



会話の大切さ

「ねえ聞いて 話したいこと あふれてる 聞かせてね 今日一日の 出来事を」。

これは今年度の「家族でできる青少年健全育成標語」の金賞作品です。小学校3年生の作品です。

親子の会話は、大変大切だということを教えてくれる標語だと思います。子どもはスマホやゲームなどに夢中、親は忙しい、という状況では会話は成り立ちません。しかし、子どもも親も、この標語のようなことを心に思っているのではないのでしょうか。ちょっとした時間でもいいと思います。親子で話す機会を増やしていくことが子どもにとって大きな自信につながったり、悩みの解消になったりすると思います。

さらに、次のような入選の標語も紹介したいと思います。

「SNS 調子に乗ると SOS」。今やスマホは、私たちの生活に溶け込んでいます。また、それは大変便利なものでもあります。しかし、子どもたちのスマホを使っている時間は確実に増えています。その結果、学習に集中できなかつたり、危険な場に遭遇したりすることも増えています。なにより、会話の時間が無くなります。

便利さ、手軽さに流されるのではなく、親子で会話をする機会をつくるのが大切だと思います。それが、青少年の健全な育成につながると思います。



編集後記

今年度は、全国的に台風等の自然災害で多くの建物が壊れたり、浸水したりするだけではなく、人的な被害もありました。また、世界遺産の首里城が焼失するという事もありました。玉城町は、2年前の台風で床上浸水等の被害がありました。災害はいつやってくるかわかりません。そのため、日頃から災害が発生した時のことを家族で話し合っておくことが必要だと痛感した1年でした。



～今、大人は何をすべきでしょうか～

下外城田小学校 教頭

小原 俊英



大人が正しく行動する姿を子どもたちに見せる

いきなり大きな話?になってしまい誠に恐縮ですが...みなさんも少なからず感じてみえることかと思えます。例えば、「〇〇ファースト」だとか、果たされることのない「説明責任」、世界中の、自分自身はとてつもなく裕福なリーダーや政治家たちが、しばしば使っている言葉です。「経済さえ順調なら」(勿論、お金や食べることはとても大事ですが...)、そして(財力、権力・権限がある人は)「自分さえよければ何をしても許される」というような考え方や行動が、連日当たり前のことのようにメディアを通じて世の中に伝えられ、それらが子どもたちの頭や心の中に無意識に蓄積されていく...そのことに危惧を感じているのは、きっと私だけではないはずです。

一方、自分の周り、地元玉城町に目を向けると、御承知のように「玉城町青少年を育てる会」という組織があります。この組織に所属されているみなさん、また、間接的に関わっていただいているみなさんが、「あいさつ運動」等多くの取組にボランティアとして参加・活動されていることに対し、本当に頭が下がる思いです。わが子や地域の子どもたちが健やかに育ってほしいという願いは、玉城町だけでなく、世界中の親・大人たちに共通のものであります。そして、その願いを叶えるためには、私たち大人が、教育・しつけ・環境問題等に真摯に向き合うことが必要です。勿論それ以前に経済問題、ひいては貧困問題という大きな課題もありますが、そこは(大変ですが)なんとか政財界の方々を中心に頑張ってください、私たちはまず、家庭や地域で出来る限りの努力をして「大人が正しく行動する姿を子どもたちに見せる」(自分のことは棚にあげています...)、完璧なんて勿論無理ですが、せめてその思いだけは日々心に留めて行動しなければ!と、自分自身が強く思う今日この頃です。

南勢志摩地区 こどもわがもの支援のための支部研修会

期 日：令和元年9月16日(月・敬老の日)
 会 場：玉城町保健福祉会館
 参加市町：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町、大紀町
 参 加 者：青少年健全育成に関わっている方々
 研修内容：「ストップ!! こども虐待」と里親制度
 講 師：近 正樹さん(南勢志摩児童相談所課長)



1. 児童相談所とは

児童相談所(児相)は、「こどもの安全が第一」をモットーに、児童福祉司・児童心理司・児童指導員などが相談にのったり、虐待を受けたこどもを一時保護したりしています。

2. 児童虐待とは

◇家庭内での大人からこどもへの不適切な「力の行使」

◇虐待は「家族であり続けようとする姿」

《虐待の種類》

- ・身体的虐待
- ・性的虐待
- ・養育の怠慢・拒否(ネグレクト)
- ・心理的虐待

《児童虐待に対応するためには》

- ・児童虐待は極めて複雑な現象
- ・さまざまな人々が力を合わせることで、ようやく解決への道筋が見えてくるもの
- ・目標は「保護者とこどもの関係」を支えること
- ・通告も対応も、親子を「支援」するためのものであり、親を罰するために行うわけではない



児童虐待かな?と思ったら

ためらわず、速やかに通告を!!【連絡者の情報などの秘密は守られます】

玉城町保健福祉課地域共生室子育て支援係(☎58-8000)

南勢志摩児童相談所(☎27-5143) 全国共通ダイヤル ☎189(いちはやく)

里親に関するお問合せ先 ☎27-5143

南勢志摩児童相談所(伊勢市勢田町628-2 三重県伊勢庁舎別館内)



講師先生



グループ討議



グループ討議の内容発表

ちゃれ たま! だより

列車に乗って、MieMuへ行こう!



ミエゾウの全身骨格復元標本

10月20日(日)、園児・児童とその保護者計26名の参加者(育成部員1名含む)と事務局2名で実施しました。

三重県総合博物館(MieMu)では、石膏を使った「化石レプリカ作り」を体験しました。参加者は、博物館学芸員から説明を聞いた後、自分で化石の型枠を選び、楽しみながら慎重に、水で溶いた石膏を流し込んでいました。この日は、学芸員の資格を取得するために3人の実習生がいて、わからないことは実習生にも聞くことができました。

化石レプリカ作りの後は、天気がよかったので、外の芝生広場で弁当を食べました。



博物館学芸員から話を聞く



型枠に石膏を流す



出来上がったレプリカ

昼食後、企画展「三重の仏像～白鳳仏から円空まで～」を鑑賞しました。

最後に、この企画の目的の1つでもある列車やバスの運賃の支払いを各自で行いました。今の子どもたちは、このような行為はあまりしないと思うので、良い経験になったと思います。



帰りの列車の中



親子de天体観測教室



スマートフォンで撮影した月

「親子de天体観測教室」は、前期2回・後期2回開催しています。後期の第1回は、11月9日(土)に京セラドキュメントソリューションズの駐車場で開催しました。

この日は、天体望遠鏡で土星や月、スバル等を観察しました。講師の藤川先生から、ある自動車メーカーの名前は、星座から名付けられたということを教えていただきました。

また、夏の星座や冬の星座についてパワーポイントを使用して分かりやすく丁寧に指導していただきました。

最後に、天体望遠鏡からスマートフォンで月を撮影しました。参加者からは「クレーターが見える」、「ウサギがいる」等の声がありました。